

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ会員総数が、前年から476人増の16,090人となった。 ・13クラブが法人化し、うち2クラブは指定管理を受託した。 ・全市町村で種目別大会(32種目)を実施した。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・国体で前年と同数の21競技において得点を獲得し、優勝数は前年を4上回る9競技となるなど、競技力向上対策の成果は着実に現れている。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・大分スポーツ公園利用者は、“観るスポーツ”、“するスポーツ”あわせて125万人を超えており、施設の充実によるスポーツ文化の定着が図られてきている。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(26年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載
			総合評価	27年度の方向性	
①	地域生涯スポーツ振興事業	8,634	C	継続・見直し	217
②	未来のアスリート発掘・育成事業	15,543	B	終了	218
	チーム大分強化事業	172,843	C	継続・見直し	219
	スポーツ大分パワーアップ事業	122,000	C	継続・見直し	220
③	緊急雇用プロスポーツを活用した地域・人づくり推進事業	28,952	A	継続・見直し	24

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○平成26年度新大分県総合教育計画フォローアップ委員会(H26.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の小規模校化が進み、運動部が公式戦に単独で参加できない状況が増えていると聞く。小規模校の合同チームや、総合型地域スポーツクラブが公式戦に出場できるようにするなど、今後は柔軟な対応を検討すべきである。そういったことが、結果的にスポーツ振興につながるのではないか。 	<p>○平成26年度第1回大分県スポーツ推進計画フォローアップ委員会(H26.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「する」スポーツが中心となっているが、「みる」「支える」視点も必要。
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> ・特に総合型地域スポーツクラブ未育成地域のある市町村において、地域住民等を対象に新規創設及び既設クラブのエリア拡大に向けた説明会(普及啓発活動)を積極的に実施する。 ・既設総合型地域スポーツクラブや総合型クラブおおいネットワークに対する事業を通して各種の支援を行うことにより、総合型地域スポーツクラブの充実・発展を図る。 ・県民すこやかスポーツ祭は、既存の種目別大会のさらなる拡大を図るとともに、県民のニーズに応じた種目を取り入れるなど、様々な世代が気軽に参加できるよう内容の充実を図る。 ・チーム大分強化事業では、競技団体の強化指導体制を再構築するため、27年度から対象となる強化選手を小学生・中学生まで拡大する。あわせて各競技の普及・振興を推進し、安定的な競技力の維持・向上を図る。 ・選手による学校訪問など地域に密着した取り組みを推進することで、プロスポーツチームをより身近に感じ、チーム成績に係わらず地元チームを応援する気運が醸成され、高度で質の高いスポーツを観る機会が増え、スポーツ人口の拡大が期待される。